

「人権・生涯」学習の推進

大津市生涯学習推進計画においては、大切にする視点の一つに「人間性の尊重」を位置づけ、全ての市民の人権が尊重される心豊かな地域社会の実現に努めることとしているが、大津市においては、今日までの同和問題解決に向けた取組や人権問題の学習の成果を基盤に、女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・外国人などの重要課題に対して、市民の自主的・主体的な人権学習を推進している。

各地域では、「人権・生涯」学習推進協議会(以下、地域「人推協」という。)を中心に、人権問題に対する正しい理解と認識を深めるため、それぞれの地域の特色を生かした事業及び活動を展開されている。また、各自治会に、人権・生涯学習推進員を設置し、地域における人権学習の推進役として活動をしている。

さらには、市内の地域「人推協」で組織した大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会では、相互の連携を密にして地域ぐるみによる人権学習の総合的な取組みを図っている。

1 大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会

地域「人権・生涯」学習推進協議会をとりまとめる団体。

平成17年度から連合会の目標として「まちづくり」という視点から次の3点を掲げるようになった。連合会は、これらの目標を念頭に、研修、啓発を中心に活動している。

- 一人ひとりのちがいを認め合い、互いが尊重されるまちづくり
- いのちと健康を大切にし、豊かな心を育てるまちづくり
- 地域の特色を生かし、身近な課題に取り組むまちづくり

(1) 研修事業

大津市と協働で以下の事業を行っている。

- ①大津市人権講座
- ②全体交流研修会
- ③地域かかわり隊の派遣

(2) 啓発、広報活動

- ①人推協連ニュースの発行

地域「人推協」や推進員に向けて、事業計画や事業報告をおこなった。

- ②表彰事業

地域及び大津市の「人権・生涯」学習の推進に特に功績のあった地域人推協、個人及び企業等に対して表彰を行った。

(3) 会議等(回数は昨年度の実績)

- | | |
|------------------|----|
| ①総会 | 1回 |
| ②会長会・事務局長会(合同会議) | 1回 |
| ③三役会 | 4回 |
| ④運営委員会 | 4回 |



5名の運営委員を含む大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会の役員で、総会や合同会議に諮るための事業の計画や運営方法、また地域「人推協」のあり方等について協議を行った。

(4) 各種大会・研修会等への参加、協力

①人権を考える大津市民のつどい

夏の集会（6月～8月） 〈各小学校区・ブロックで開催〉

秋の集会（9月～1月） 〈各小学校区・ブロックで開催〉

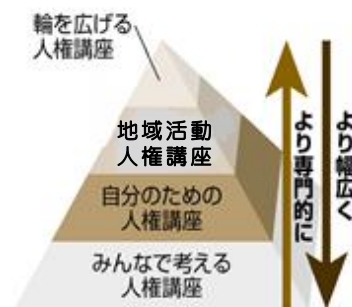
②滋賀県人権教育研究大会（11月3日・4日）〈米原市〉

③人権尊重と部落解放をめざす県民のつどい（12月3日）〈米原市〉

④人権学習をすすめる市民のつどい（2月17日）〈大津市〉

2 大津市人権講座

大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会と協働で開催している。一般市民を対象としたすそ野を広げるための内容から、より専門的な内容という広がりや深まりのある体系で実施した。（右図参照）



令和5年度開催結果

日時	テーマ（会場）	講師
7月12日(水) 14:00～16:00	様々な生きづらさを抱えた女性の人権課題について 【みんなで考える人権講座①】市役所別館1階大会議室	山本 良子 氏 NPO 法人リハビ ティー・ウィメンズ・ハウ ス・おりーぶ理 事長
8月28日(月) 14:00～16:00	部落問題の現状と人権教育・啓発の課題 ～部落問題をどう語り、伝えるのか～ 【みんなで考える人権講座②】市役所別館1階大会議室	石元 清英 氏 関西大学名 誉 教授
9月10日(日) 13:30～16:00	認知症の方が穏やかに過ごすには ～家族や周りの方の接し方～ 【自分のための人権講座①】ピアザ淡海2Fピアザホール	松田 桜子 氏 琵琶湖病院副 院長
10月19日(木) 18:00～20:00	社会全体でいじめ対策に取り組むために 家庭や地域ができること ～第3期大津市いじめの防止に関する行動計画から～ 【輪を広げる人権講座】明日都浜大津ふれあいプラザ会議室	神月 紀輔 氏 京都ノートル ダム女子大学 教授
11月7日(火) 15:15～16:45	子ども・若者の参画と社会デザイン ～子どもの権利の実質化に向けて～ 【自分のための人権講座②】龍谷大学瀬田キャンパス4号館	川中 大輔 氏 龍谷大学社会 学部准教授
12月8日(金) 14:00～16:00	東日本大震災から12年 ～歌とチャリティー活動を通して～ 【地域活動人権講座】市役所別館1階大会議室	関島 秀樹 氏 シンガーソ ングライター
1月25日(木) 14:00～16:00	ウクライナの現地の声 ～戦火に苦しむ女性や子どもたち～ 【みんなで考える人権講座③】市役所別館1階大会議室	玉本 英子 氏 映像ジャーナ リスト (アジアプレス)
2月17日(土) 10:00～12:00	夢授業 ～子どもたちが夢を描くために必要なこと～ 【みんなで考える人権講座④】市役所別館1階大会議室	村田 和哉 氏 株式会社人生 最幸代表取締 役

3 全体交流研修会

地域「人推協」役員等を対象に先進的な活動を行っている機関や施設を訪問し、新たな視点を身に付け、また、相互の交流と意見交換を行うための研修

①研修内容：舞鶴引揚記念館への視察研修

②実施日：10月23日（月）

③目的：今年は世界人権宣言が採択されて

75周年という節目を迎えるにあたり、改めて「人権とは何か」を問いかけ、第二次世界大戦後に起こったシベリア抑留や、その引き揚げの地である舞鶴について学び、人間の尊厳について考えていくこととする。今回訪問する

舞鶴引揚記念館において、第二次世界大戦に至る状況や、終戦後長い年月に渡った抑留生活の史実を学ぶことで、戦争の悲惨さや絶望な状況からもあきらめない人間の持つ生きる力を学ぶとともに、引揚げ時には、分け隔てなく歓迎、慰問し、勇気づけた舞鶴の人々の行動を学び、第二次世界大戦後に採択された世界人権宣言について改めて認識する機会とする。また、今回の1日研修を通じ、各地域で人権学習を推進する地域人推協の交流による横のつながりを広げ、各学区での活動や悩みなどを共有することで、地域での活動推進のきっかけとしていく。

④参加者：15名参加



4 人権・生涯学習推進員

地域「人推協」活動の中核的な役割を果たす人権・生涯学習推進員を、ボランティアとして市内各自治会に1～2人を設置している。（令和5年度：1,020名）

主な活動内容は次のとおりである。

- ・世話役活動 自治会、団体との連絡調整、相談活動
- ・啓発活動 住民・団体への啓発活動、集会等への参加呼びかけ
- ・組織活動 地域「人推協」への参画、学習機会の企画
- ・研修 自己研修、学習会などへの参加

<設置の経過>

昭和45年度	社会同和教育推進員制度発足
昭和50年度	市内各自治会に設置
昭和53年度	大規模自治会(110世帯以上)に複数設置
昭和54年度	教育長による委嘱開始
平成4年度	人権・生涯学習推進員に名称変更
平成12年度	大規模自治会の複数設置基準の変更 (110世帯から130世帯以上に)

5 人権を考える大津市民のつどい

人権を考える大津市民のつどいは、同和問題をはじめあらゆる差別の解消を目指して、昭和44年に「大津市同和教育研究大会」として開催された。以来、「人権尊重を基盤とした個性と魅力あふれるまちづくりをめざして」をテーマに、全市一会場の開催からブロック開催(現在11ブロック)へ、そして夏・秋の年2回開催となった。また、名称も「人権を考える大津市民のつどい」と改められ、平成30年度は50回目の開催となった。参加者は5,000人を越え、地域社会に定着した集会となっている。

大津市においては、学校・園での教育の充実や地域「人推協」をはじめとする市民運動の展開など、生涯学習における人権学習が積極的に推進されている。

本市としては主催団体の一員として、今後も、人権問題についての正しい理解・認識が深められ、課題解決を目指す取組みが促進されるよう、このつどいがきめ細かく、幅広い市民の学習の場となるよう創意工夫しながら開催していく。

- ・夏の集会 6月～8月
- ・秋の集会 10月～12月



6 「人権を守る大津市民の会」の活動の支援

「人権を守る大津市民の会」は、市民の人権意識の高揚を図り、差別のない社会の実現を目指して、昭和52年に結成された。これは、昭和48年に同和問題啓発演劇「慟哭」、その3年後の51年に「背負われた如来」が上演され、市民の同和問題に対する認識が一気に高まったことを受けて、上演活動に参加した者を中心に誕生したものである。

以来、今日の人権にかかる重要な課題の解決を目指し、駅頭・街頭啓発をはじめ、人権作品の募集や作品展の開催、文化活動助成など、幅広い啓発活動を市民ぐるみで展開している。そして現在では、地域、職域を合わせて23団体が結集する市民団体となっている。

本市としても人権尊重を基盤とした「結の湖都 大津」のまちづくりの実現に向けて、人権を尊重する意識の高揚を図る市民啓発の充実を図っていくため、「守る会」の活動を支援している。

令和5年度の「人権を守る大津市民の会」の主な主催事業

- ・第46回「わたしと人権」入賞作品展(3会場)
- ・駅頭街頭啓発活動(市内6か所)
- ・第47回「わたしと人権」作品募集
- ・啓発グッズ(ポケットティッシュ)を作成し配布(3,500個)
- ・冊子「わたしと人権」の作成と配布(2,500部)

